

# 平成14年度中央大学の決算について

平成14年度中央大学の決算について概要をお知らせいたします。詳細は学生部事務室窓口備え付けの平成14年度決算報告書および説明書をご覧ください。

資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表などの決算財務諸表は、大学の資金事情、経営状況および資産内容をあらわしたものです。言いかえれば、教育・研究諸活動を財政面から示す会計情報です。これらの財務諸表のうち資金収支計算および消費収支計算のもつ役割については、本誌「平成15年度中央大学収支予算について」で説明しましたので参照してください。また、貸借対照表は、期末における大学の運営に必要な資産の保有状況および負債、基本金の状況をあらわしています。

## 1. 資金収支状況

**第1表**のように、平成14年度決算における当年度の資金収支差額は、予算より11億6,400万円好転し、5億200万円の収入超過となりました。その過程においては、本年度もまた、前年度に引き続き、将来の大規模な施設の取替更新等に備えることを目的として、特定資産の充実を図るため、予算を上回った収入等の予決算差異を財源として、次年度に必要な繰越支払資金を確保しつつ、施設等拡充引当特定資産に一定の範囲内で増額して繰入れることとし、予算を22億5,000万円上回る繰入れを行うことができました。

予算対比で資金収支を概観すると、収入では、学生納付金収入、補助金収入、資産運用収入、資産売却収入、雑収入及び前受金収入が増加しましたが、手数料収入、寄付金収入、事業収入、他会計繰入収入、借入金等収入及びその他の収入がそれらを上回って減少したため、当年度収入合計は予算を下回りました。

一方、支出については、人件費及び教育研究経費等の執行残は、執行時に極力節減を図ったためであり、予算に計上した事業計画はほぼ順調に執行されました。施設関係支出の大幅な減は、キャンパス整備関係の建設費が当初予定額を下回ったためです。なお、資産運用支出が予算を大幅に上回っているのは、上述の特定資産への繰入れ増等によるものです。

以上の結果、当年度収支差額は、上述のとおり、予算とは一転して収入超過となり、次年度へ繰越す支払資金も、予算より19億500万円増の169億300万円となりました。

関連して、学生数の推移を**第2表**に、学部入学志願者数（一般入試・センター利用入試）及び入学手続き者数を**第3表**に、教育・研究に関する目的別の主な支出項目と決算額を**第4表**に、教職員数の推移を**第5表**に、資産図書蔵書状況を**第6表**に示しますので参考にしてください。

## 2. 消費収支状況

本年度の消費収入は、帰属収入が予算より増加し、収入控除科目である基本金組入額が減少したため、予算対比で31億4,000万円の増加となりました。

消費支出は、人件費や教育研究経費等が減少したため、予算を16億7,500万円下回りました。

この結果、当年度消費収支差額は、予算より48億1,500万円改善はしたものの、3年ぶりに、12億5,100万円の支出超過となりました。これはキャンパス整備の進捗に伴って基本金組入額が過去2年度より大幅に増えたことが大きな要因ですが、いずれにせよ、翌年度繰越消費支出超過額は228億6,400万円となり、本学の収支均衡への道は今なお厳しい状況にあります。

なお、基本金組入額の内訳は、**第7表**のとおりです。

### 3. 貸借対照表

前年度末に比べて、資産の部では、建物、図書、学生貸費及び第3号基本金引当資産等の増により固定資産が増加し、また、支払資金及び未収入金の増により流動資産も増加しました。

一方、負債・基本金・消費収支差額の部では、長期借入金の増により固定負債が増加し、また、短期借入金及び預り金等の増により流動負債が増加しました。また、炎の塔、グリーンテラス、Cスクエア、後楽園キャンパス新3号館及び附属高校新1号館建設工事等により第1号基本金が増加し、また、基準に照らし恒常的に保持すべき資金額が増加したことにより第4号基本金が増加しました。

なお、資産から負債を差引いた正味財産は資産の増加により1,118億6,200万円となり、前年度比で62億3,300万円増加しました。

なお、借入金の償還状況は第8表のとおりになっています。

### 4. 財政状況の総括と中期展望

本学の財政状況を時系列的に概観すると、資金収支決算において、前受金保有率は、平成10年度以降140%を超え、平成14年度は150.4%と平成11年度の156.0%に次ぐ高さとなっており、当年度資金収支差額は、学校債等の繰入れで資産運用支出が大きく膨らんだ平成12年度を除き、黒字（収入超過）基調ですが、平成14年度のその額は5億200万円で、過去10年間では最低の水準です。

一方、消費収支決算においては、2年間続いた収支均衡が崩れ、平成14年度は12億5,100万円の支出超過に転じました。しかし、これはキャンパス整備の進捗に伴い、基本金組入額が前2年度に比べて、大きく増えたためであり、これを除いた経常収支（帰属収入－消費支出）では、収支差額は収入超過となっています。その意味では、平成14年度においても、引き続き、本学が目指す消費収支の均衡は図られているとすることができます。

こうした近年の財政状況があったからこそ、この間に中・長期計画に基づいた財政投資が一部可能になり、国際会計研究科（専門職大学院）創設事業や新棟建設事業を経常収支に影響を及ぼすことなく執行できました。

しかし、今後の財政状況を中期的に展望してみると、収入面では、帰属収入の柱である学生納付金について、夜間部改廃と臨時定員の半減等により、平成18年度まで前年度より減収が見込まれます。

一方、消費支出をみると、人件費は抑制基調を維持するとしても、情報環境整備、新しい専門職大学院の創設や社会人大学院の再編成、学部教育の個性化、国際化など財政需要は増加傾向にあります。また、新棟に伴うランニングコストやキャンパス拡散に伴うコスト増の要因もあります。

したがって、今後は帰属収入の伸び以上に消費支出が増加する恐れがあり、収支バランスの悪化が懸念されます。

これに加え、新規の投資についても、キャンパスの都心回帰への強い要望など需要は極めて旺盛です。こうした状況の下、本学は創立125周年に当たる2010年を見据えて、新しい中央大学づくりを目指し、大学改革を推進しているところですが、それを支える財政基盤が伴わなければ、計画が画餅に帰することはいうまでもありません。

そのため、①消費収支の均衡、特に長期財政計画を可能とする消費支出比率（消費支出÷帰属収入）の確保、②適正な前受金保有率の確保、③将来の大規模取替更新に備えるためのライフサイクル資金の留保など各種引当特定資産の積増し、④各種奨学基金の充実・拡大、⑤産官学共同研究開発など外部資金の導入などを目標として、具体的に財政改善策を講じていく必要があります。

今大学は、少子化による定員充足率の低下、それに伴う財政悪化の拡大、規制緩和の動き、国立

大学の独立行政法人化など、取り巻く環境に一段と厳しさが増し、経営危機に直結する状況下に置かれています。

理事会は、そうした状況を踏まえ、いわゆる「理事会基本方針」の再検討が必要と考え、先にそのことを総合企画委員会に諮問したところですが、先般、同委員会から中間報告が提出されたので、それを含め、今後、理事会が行うべき事業内容等を多様な見地から再検討する理事会小委員会を発足させました。同委員会においては、財政改善に関する課題についても議論するとともに、的確な財政見通しの下に各種事業の推進を図る予定です。

## 第1表 平成14年度中央大会計決算概要表

### 【資金収支計算書】

(単位 百万円)

支 出				収 入			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	20,386	20,036	350	学生納付金収入	27,213	27,509	△ 296
(教職員人件費)	19,119	18,580	539	手数料収入	1,893	1,837	56
(退職金)	1,267	1,456	△ 189	寄付金収入	1,150	982	168
教育研究費支出	9,421	8,613	808	補助金収入	3,577	3,820	△ 243
管理経費支出	994	962	32	資産運用収入	899	983	△ 84
借入金利息支出	161	150	11	資産売却収入	0	70	△ 70
借入金返済支出	680	671	9	事業収入	598	513	85
施設関係支出	12,394	11,385	1,009	雑収入	1,008	1,146	△ 138
設備関係支出	2,648	1,303	1,345	他会計繰入収入	2,618	2,331	287
資産運用支出	2,075	5,050	△ 2,975	借入金等収入	2,033	1,833	200
他会計繰入支出	1,339	819	520	前受金収入	10,425	11,236	△ 811
その他の支出	1,408	1,082	326	その他の収入	10,898	10,246	652
予備費	300	—	300				
支出調整勘定	△ 340	△ 385	45	収入調整勘定	△11,508	△12,318	810
支出合計	51,466	49,686	1,780	収入合計	50,804	50,188	616
次年度繰越資金	14,998	16,903	△ 1,905	前年度繰越資金	15,660	16,401	△ 741
計	66,464	66,589	△ 125	計	66,464	66,589	△ 125
当年度収支差額	△ 662	502	△ 1,164				

### 【消費収支計算書】

(単位 百万円)

支 出				収 入			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
消費支出	34,856	33,181	1,675	帰属収入	39,105	39,414	△ 309
				基本金組入	△10,315	△ 7,484	△ 2,831
当年度収支差額	▲ 6,066	▲ 1,251	△ 4,815	消費収入	28,790	31,930	△ 3,140
計	28,790	31,930	△ 3,140	計	28,790	31,930	△ 3,140

【貸借対照表】

(単位 百万円)

資 産 の 部				負債・基本金・消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	123,813	117,135	6,678	固定負債	16,579	15,892	687
流動資産	18,123	17,369	754	流動負債	13,495	12,983	512
				基本金	134,726	127,242	7,484
				累積収支差額	▲ 22,864	▲ 21,613	△ 1,251
計	141,936	134,504	7,432	計	141,936	134,504	7,432

第2表

学 生 数 の 推 移

(単位 人)

			平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
学 部	在 student 数	(a)	30,170	30,129	29,573	28,533	27,812
			(5,115)	(4,445)	(3,171)	(1,988)	(1,118)
	収容定員	(b)	27,750	27,750	26,652	25,346	23,982
			(5,960)	(5,960)	(4,620)	(3,130)	(1,640)
	充 足 率	(a/b)	1.09	1.09	1.11	1.13	1.16
			(0.86)	(0.75)	(0.69)	(0.64)	(0.68)
大学院	在 student 数	(c)	1,375	1,636	1,833	1,912	1,977
	収容定員	(d)	1,260	1,307	1,354	1,458	1,635
	充 足 率	(c/d)	1.09	1.25	1.35	1.31	1.21

(注1) 各年度5月1日現在の学生数(修学延長生を含む)

(注2) 別途、国際会計研究科秋季入学者は36名

(注3) 学部の下段( )内は二部で内数を示す

第3表

学 部 入 学 志 願 者 数 (一 般 入 試 ・ セ ン タ ー 利 用 入 試) 及 び 入 学 手 続 者 数

(単位 人)

		法	経済	商	理工	文	総合政策	合計	予算数	増減
志願者	14年度	11,945	7,723	7,675	12,593	8,814	2,343	51,093	49,050	2,043
	15年度	11,336	8,500	7,429	12,651	8,863	2,209	50,988	50,850	138
手続者	14年度	1,399	1,210	1,255	1,105	1,011	235	6,215	5,922	293
	15年度	1,445	1,093	1,357	900	1,135	299	6,229	5,922	307

(注) 志願者数は入金者数

第4表

## 教育・研究に関する目的別の主な支出項目と決算額

(単位 千円)

支 出 項 目	決 算 額	支 出 項 目	決 算 額
<b>教育関係費(学生)</b>	722,182	<b>研究発表助成</b>	77,740
学部学生図書費	5,207	<b>その他研究関係</b>	70,565
オリエンテーション等	14,386	教員研究図書資料複写補助	8,369
体育シーズンコース	9,125	学会出張旅費	45,049
客員等教員の招聘	9,404	学会補助費	1,463
学部教育補助	25,383	各種研究会補助	757
ゼミ連等補助	13,309	教員研究室運営	3,579
学生報告書・名簿作成補助	1,942	学術研究奨励金	2,476
理工学部実験実習費	389,314	その他	8,872
文系学部実習費	121,145	<b>研究所関係費</b>	307,479
理工学部バス見学	2,102	<b>図書館関係費</b>	730,458
教室・自習室の整備	1,651	<b>国際交流関係費</b>	309,398
文学部学科新設等	5,413	(留学生関係奨学金を含む)	
大学院研究年報	16,034	<b>情報処理関係費</b>	1,441,559
大学院論文発行	450	学部情報処理教育	274,892
理工学部大学院充実費	20,100	研究情報処理	19,293
院生研究資料複写補助	4,160	情報処理支援	1,147,374
院生学会発表補助	12,304	<b>課外教育関係費</b>	331,477
院生課外授業補助	1,582	法職講座運営費	161,593
教育実習等教職経費	12,278	クレセント・アカデミー	35,835
文学部各種資格課程	377	公認会計士講座補助	25,000
体育授業関係費	34,491	学生部主催セミナー等	4,052
その他	22,025	大学祭	12,269
<b>教育関係費(教員)</b>	40,874	新入生歓迎文化祭	327
教員室備付図書	962	連続講演会	128
学部学生引率旅費	14,484	学長賞	322
大学院生引率旅費	491	学友会活動への補助	65,305
教員複写補助	178	その他	26,646
教育懇談会等会議	3,068	<b>就職関係費</b>	57,937
自己点検・評価	5,772	<b>学生福利厚生関係費</b>	1,730,937
その他	15,919	学生の健康管理	48,403
<b>教務事務関係</b>	301,258	奨学制度(留学生奨学金を除く)	1,455,552
<b>入学式・卒業式</b>	28,132	学生厚生施設	184,831
<b>研究費関係</b>	953,116	下宿・貸間幹旋等	1,559
研究用図書費(基礎研究費)	242,385	学生食堂関係	7,352
特殊研究助成費	63,954	精神衛生	217
特別研究期間制度	13,398	その他(事故対策、見舞金他)	33,023
教員在外研究費	61,973	<b>入学試験関係費</b>	364,024
共同研究費	16,333		
科研費・間接経費	2,921		
学内助成(特別図書・機械)	36,787		
私大研究設備装置補助	222,803		
受託研究	292,562		

第5表

## 教職員数の推移

(単位 人)

職種	身分	10年度	11年度		12年度		13年度		14年度	
		人数	人数	10年度との比較	人数	10年度との比較	人数	10年度との比較	人数	10年度との比較
大学 教員	専任	628	613	△ 15	607	△ 21	610	△ 18	627	△ 1
	非常勤	1,478	1,515	37	1,470	△ 8	1,513	35	1,559	81
	計	2,106	2,128	22	2,077	△ 29	2,123	17	2,186	80
大学 職員	専任	438	435	△ 3	431	△ 7	422	△ 16	419	△ 19
	嘱託・室員	99	108	9	111	12	105	6	106	7
	計	537	543	6	542	5	527	△ 10	525	△ 12

(注1) 各年度12月31日現在

(注2) 平成11年度から発足した専任研究員(16名)と平成13年度から発足した研究補助員(3名)は除く。

第6表

## 資産図書蔵書状況

(単位 千円)

部門	平成12年度		平成13年度		平成14年度	
	冊数	資産計上額	冊数	資産計上額	冊数	資産計上額
図書館	1,451,518	8,344,795	1,492,002	8,717,502	1,522,788	9,026,640
比較法研究所	49,068	347,976	50,106	359,395	52,489	380,487
経済研究所	53,292	224,148	54,760	230,774	55,388	234,224
企業研究所	43,578	194,170	45,116	203,327	44,140	203,642
人文科学研究所	27,667	148,883	29,229	158,988	29,505	162,737
社会科学研究所	15,392	98,514	15,876	101,055	16,248	103,099
保健体育研究所	2,138	8,901	2,231	9,141	2,314	9,351
政策文化総合研究所	3,448	10,664	3,597	13,159	767	16,245
計	1,646,101	9,378,051	1,692,917	9,793,341	1,723,639	10,136,425

第7表

## 基本金組入額内訳

(単位 千円)

種 別	内 容	金 額
第1号基本金	固定資産購入・受贈に伴う組入額	11,475,730
	借入金等による未組入額	4,834,243
	小 計	6,641,487
第3号基本金	長谷川如是閑翁基金	587
	給付奨学生奨学基金	100,000
	大学院給付奨学基金	50,000
	貸費奨学基金	47,616
	谷本利千代百年基金	2
	国際交流奨学基金	100,000
	飯塚久子奨学基金	3,750
	指定試験奨学基金	100,000
小 計	401,955	
第4号基本金	恒常的に保持すべき資金の増による組入額	441,000
	小 計	441,000
合 計		7,484,442

第8表

## 借入金償還状況

(単位 千円)

借入事由	期首残高	当期借入額	元金返済	利息支払額	期末残高	最終償還年
高校等施設充実費						
杉並高校校舎(私学事業団)	813,700	0	81,370	46,096	732,330	平成23年度
〃 (都振興会)	35,295	0	35,295	1,058	0	平成14年度
〃 (市中銀行)	255,000	0	30,000	6,910	225,000	平成22年度
計	1,103,995	0	146,665	54,064	957,330	
教職員福利厚生費						
教職員住宅資金(市中銀行)	359,140	0	104,130	14,290	255,010	平成23年度
キャンパス整備計画						
新校舎等建設費(学校債)	3,782,700	0	420,300	68,089	3,362,400	平成22年度
〃 (市中銀行)	0	1,800,000	0	13,426	1,800,000	平成19年度
計	3,782,700	1,800,000	420,300	81,515	5,162,400	
施設設備充実						
私立学校施設整備資金貸付金 (文部科学省)	0	32,672	0	0	32,672	平成18年度
合 計	5,245,835	1,832,672	671,095	149,869	6,407,412	